

NPO 法人 北海道学習障害児・者親の会 クローバー 主催

クローバー 例会のご案内

私達「NPO法人北海道学習障害児・者親の会 クローバー」では、各方面から専門家・有識者・経験者等をお迎えして、様々なテーマについて学び合う「例会」を開催しています。ぜひお出でくださいますよう、ご案内いたします。



◆10月1日(水) 10:00~11:30 発達障害のある子どもの保護者限定/定員15名 「親の学びのために」

《進行》 長田じゅん子 (クローバー事務局長)

《会場》 札幌市社会福祉総合センター 視聴覚室 (札幌市中央区大通西19)

前半は長田事務局長の話を通して、後半はグループ懇談を通して、子どものこと私達親自身のことと一緒に考えましょう。

※この回は「発達障害のある子どもの保護者」限定です。クローバー会員と一般の保護者の方でグループになり懇談します。お子さんのことで心配がある方、同じような子どもを育てている親と交流したい方、クローバーの雰囲気を知りたい方…ぜひ、ご参加ください。

◆11月22日(土) 14:00~16:00 ※受付 13:30~ 定員30名 「感覚統合療法の理論と実践について」

《講師》 中谷優太氏 (こども支援ルーム星置/作業療法士)

《会場》 札幌市生涯学習センターちえりあ3F研修室5・6 (西区宮の沢1条1丁目)
※地下鉄東西線:宮の沢駅、宮の沢駅バスターミナル下車/地下直結通路徒歩約5分)

アメリカの作業療法士ジェーン・エアーズ (Jean Ayres, 1920-1988) が提唱した「感覚統合理論」は、脳が五感だけでなく、身体の動きや位置に関する感覚 (前庭感覚・固有受容感覚) を含めた多様な感覚情報を整理・統合し、それを基に行動や学習、情緒の安定を可能にするという考え方です。エアーズは、子どもが環境から得る感覚情報を脳でうまく処理できない場合、注意集中の困難、動作のぎこちなさ、学習のつまずき、行動面での問題が生じやすいと指摘しました。そのため感覚統合療法では、子どもが楽しみながら「揺れる」「登る」「押す・引く」といった活動を通じて感覚刺激を経験し、脳の情報処理を促すことを目的としています。この理論は現在も、発達障害や学習障害を持つ子どもへの支援、作業療法の基盤のひとつとして広く活用されております。当日は、最近の知見も含めてお話しできればと考えております。★講義90分のあと、30分間個別相談会を設けます。お申し込み時に「個別相談希望」と記載してください。

◆12月12日(金) 10:00~11:30 定員30名 「発達障害について考えること」

《講師》 室橋春光先生 (北海道大学名誉教授/クローバー顧問)

《会場》 札幌市社会福祉総合センター 第2会議室 (札幌市中央区大通西19)

発達障害の最近の動向をお話いただき、みなさんとざっくばらんにトークをしながら理解を深めたいと思います。

 クローバーHPでもご案内しております。 <http://www.ld-clover.info/>
今後の予定につきましても、決まり次第随時掲載して参ります。

参加費
申込み

一般 600円、賛助会員 400円、正会員 200円

各開催日の3日前までに、次の①~③ (④、⑤) をお知らせください。

①氏名 (ふりがな)、 ②所属 (保護者の方はその旨とお子さんの年代/幼・小・中・高・青年)

③連絡先、FAXの方は④FAX番号 (満席・変更等の場合返信します。)

※10月例会は、⑤「話題にして欲しいこと・悩んでいること」もお知らせください。出来る範囲で準備・対応致します。

◆Eメール clover.oyanokai@gmail.com (件名「〇月例会申込み」)
◆FAX 011-299-9639 (クローバー事務所)

お待ちしております!

